

# 健生クラブ 『湘南藤沢の里山と生産現場にふれる一日』 豆知識

## ー 里山の新林公園を歩き、ナスラック鎌倉工場を見学 ー

湘南地区ネット 原

### 〔記載項目〕

- JR藤沢駅 ● 藤沢(新)市役所 ● 新林公園 ● 境川 ● 柏尾川 ● 大船の由来
- ナスラック鎌倉工場 ● 大船観音寺

### ● JR藤沢駅

・名実共に藤沢市の玄関口となる駅。1887年(明治20年)7月11日に官営鉄道の旧・横浜駅 - 国府津駅間開通と同時に藤沢宿の玄関口として開業した。ただ、線形の問題で、駅が当時の藤沢宿の中心街(東海道沿い)から1kmほど南に設置されたため、開業時の駅周辺は閑散としていたという。

### 〔歴史〕

1887年(明治20年)7月11日 - 国鉄(後の東海道本線)旧・横浜駅 - 国府津駅間開通と同時に開業し、旅客・貨物の取り扱いを開始

1902年(明治35年)9月1日 - 江ノ島電鉄の駅が開業

1929年(昭和4年)4月1日 - 小田急江ノ島線の駅が藤沢町東横須賀464番地に開業

1974年(昭和49年)6月7日 - 江ノ島電鉄の現駅舎が供用開始

1977年(昭和52年)10月15日 - 北口地下道が開通 12月1日 - 小田急藤沢駅新駅舎が完成

1980年(昭和55年)国鉄駅の駅舎を橋上駅舎化 6月1日 - 南北自由通路が完成、使用開始

### 〔利用状況〕

- ・藤沢市の中心駅で、2012年度の各社合計の乗降人員は1日平均約39万人
- ・JR東日本 - 2016年度1日平均乗車人員は108,205人
- ・小田急電鉄 - 2016年度の1日平均乗降人員は164,255人
- ・江ノ島電鉄 - 2016年度1日平均乗降人員は22,769人

### 〔北口ペDESTリアンデッキ(サンパール広場)のリニューアル〕… 事業費 約31億円

・藤沢駅周辺の再活性化に向け、1979年(昭和54年)に整備された藤沢駅北口ペDESTリアンデッキ(サンパール広場)のリニューアル工事を平成29年度から着手。現在の構造を活かしつつ、バリアフリーやユニバーサルデザインへの対応を行い、2019年(平成31年)12月の完成を目指す。



## ●藤沢(新)市役所



- ・藤沢市役所新庁舎（同市朝日町）が完成し、2018(平成30)年1月4日から供用が開始された。
- 新庁舎は地下1階、地上10階建てで延べ床面積は約3万5千平方メートル、高さは47・2メートル。総工費は約180億円。旧本館と旧東館の老朽化が進み、耐震性に問題があることから平成27年9月から建設に着手していた。
- ・新庁舎9階には富士山を眺めることができる展望デッキを設置。屋上に災害時に対応できるヘリコプターのホバリングスペースを設けた。また、市議会には親子連れでも傍聴できる防音機能付きの傍聴席を備えた。同市役所では来年度中に分庁舎の改修を始め、32年1月に全面リニューアルが完了する見通し。
  - ・市制施行：1940年(昭和15年)10月1日
  - ・人口：429,205人　世帯：185,507世帯

### 【藤沢の地名由来 … 藤沢市広報】

・「藤沢」の地名の起源については、巷（こう）間に諸説があります。

ア.藤（ふじ）の多い水辺の地

イ.藤沢次郎清親（鎌倉時代）の居住地

ウ.淵（ふち）や沢の多い土地　　などが代表的なものです。

しかし、藤沢がとくに植物の「ふじ」に関係が深いア.とは考えられませんが、イ.の人名と地名との関係については、むしろ地名が先で、人名が後だとする見方が強く、

従って、淵沢（ふちさわ）が藤沢（ふじさわ）に転化したとする説ウ.が最も妥当と考えられています。

## ●境川

・境川（さかいがわ）は、東京都および神奈川県を流れ相模湾に注ぐ河川。二級水系の本流である。川の名前はかつて武蔵国と相模国の国境とされたことに由来し、現在でも上流部（町田市最南部まで）は概ね東京都と神奈川県の都県境となっている。なお、かつては相模国高座郡に由来する高座川（たかくらがわ）とも呼ばれていた。また、最下流部から河口にかけては片瀬川（かたせがわ）とも呼ばれる。その流域には、東京都、神奈川県にまたがり、町田市、相模原市、大和市、横浜市、藤沢市、鎌倉市の6市が含まれる。

## ●柏尾川

・源流である戸塚区の周囲の区から流れる複数の小川のうち港南区から流れる平戸永谷川（ひらどながやがわ）と瀬谷区から流れる阿久和川（あくわがわ）が合流する戸塚区柏尾町付近から柏尾川の名称に変わる。戸塚駅付近より大船駅付近までJR東海道本線沿いを流れ、手広付近までは神奈川県道304号腰越大船線にほぼ平行に沿う。手広付近からは神奈川県道32号藤沢鎌倉線を藤沢駅方向に流れ、藤沢市川名で境川に合流する。

## ●大船の由来

・古来湿地帯に丘が点在する地域であり、語源としては大きな船が入ったため「大船」、また粟を積んだ船が出入りしたため「粟船」（大船五丁目にある常楽寺の山号が粟船山[ぞくせんざん]でその裏の丘が[あわふねやま]と呼ばれる）から転じた、あるいは丘の形が船のような形をしていたから、などの説がある。

## ●新林公園（しんばやしこうえん）

・16. 2ヘクタールある園内には、山の尾根に沿う全長1.5kmの自然散策路、遊具のある冒険広場、湧き水でできた川名大池があります。ハイキングコースにもなる自然散策路では、ヤマユリなどの自生植物を、川名大池では、カワセミアオサギなどの野鳥の観察を、湿性池では、湿生植物を見ることができます。池のほとりには、謡曲や琴、俳句の会などの愛好団体に利用される江戸時代の古民家があります。

・市文化財「旧福原家長屋門」江戸期   ・市文化財「旧小池邸」江戸後半



## ●ナスラック鎌倉工場

・ナスラック鎌倉工場は、ナスラックが誇る高品質なキッチン製品の生産拠点として重要な役割を担っています。ナスラックのキッチンの特長である、躯体までもステンレスにこだわった「システムキッチン」は、すべてナスラック鎌倉工場生産され、全国のお客様のもとへ出荷されています。賃貸住宅向けの「コンパクトキッチン」や、「洗面化粧台」の製造も行っており、ナスラックの水まわり商品における最大規模の工場となっています。

- ・敷地面積：16,852m<sup>2</sup>（約 5,098 坪）
- ・建屋など面積：総合建屋建築面積：7,224m<sup>2</sup>（約 2,190 坪）（立体倉庫 1,048m<sup>2</sup> も含む）  
金物工場面積：360m<sup>2</sup>（約 109 坪） テント倉庫：450m<sup>2</sup>（約 136 坪）



## ●大船観音寺

・全長約 25m の巨大白衣観音像（大船観音）で知られる。JR 大船駅西口より徒歩 10 分程度。  
・大船観音は 1929 年（昭和 4 年）、地元有志の発起により、護国観音として築造が開始され、1934 年（昭和 9 年）には輪郭が出来上がっていたが、戦局の悪化により、築造は中断。その後、20 年以上放置される。第二次世界大戦後、財団法人大船観音協会が設立され、1960 年（昭和 35 年）4 月に完成した。曹洞宗。

- ・拝観時間/入館時間  
9 時 00 分～17 時 00 分（2～10 月）、9 時 00 分～16 時 30 分（11～1 月）

- ・拝観料/入館料  
大人 300 円（高校生以上） 子供 100 円（小・中学生） ※幼児は無料  
団体 200 円（20 名様以上） ◆障害者無料（要障害者手帳） ◆市内高齢者無料（要福寿手帳）（付添 1 名無料）

